10月20日（日）に栄村総合文化祭が開催されました。

SBC子ども音楽コンクールで特別賞を受賞した栄中学校の全校合唱では、力強く、美しい生徒の歌声が会場いっぱいに響きわたり、観客からは感動の声が上がりました。

主な内容

第1回復興推進委員会を開催しました

10月3日（木）に復興推進委員会の第一回目の会議が開催されました。この委員会は、昨年策定された「栄村震災復興計画」に基づき設置されたもので、復興事業が計画を踏まえて実施されているか、目的を達成できているかなどのアドバイスや点検を実施します。

会議では、村長から復旧事業の概要について説明した後、各委員から復興に対する意見を出していただきました。次回以降は、具体的な復興事業について点検やアドバイスをいただく予定です。次回は11月6日に開催します。

役職	氏名	備考
委員長	相澤博文	議会総務文教常任委員長
委員	鈴木敏彦	議会産業社会常任委員長
	月岡富士男	栄村農業委員会
	安藤　勇	栄村商工会
	桑原重雄	栄村森林組合
	吉楽里美	栄村秋山郷観光協会
専門委員	木村和弘	信州大学名誉教授
	柳澤直樹	長野県北信地方事務所長

《委員から出された意見》

○村民の皆さんが思っている以上に全国の皆さんが復興の状況に注目している。

○栄村は連帯することを苦手とするところがある。集落間の連携、村民と行政、事業者との連携等、様々な側面で連携を図らなければならない。

○復興事業は、相互に関連して総合的な対策になってはじめて復興に繋がる。復興計画の基本である総合性、関連性について復興推進委員会で検討し、透明性を確保したうえで事業を導入する必要がある。

○出来上がっている事業について後から検討しても手遅れになる場合がある。事業提案の早い段階から委員会が関わる仕組みが必要。

○震災で辛い思いをしたが、ちょっとしたことで、栄村で仕事を続けていきたいという気持ちを持ち続けることができる。夢が持てる村にしていくことが私たちの役割。

【問合せ先】

総務課企画財政係

☎0269-87-3111

☎050-3583-2111（直通）

台風26号が接近 中条川流域に避難勧告発令

10月15日から16日にかけ、台風26号の影響により村内でもまとまった降雨がありました。

この雨の影響により、9月の台風18号による大雨で土石流が発生した中条川流域では、再び土石流が発生する恐れが高まり、10月15日午後7時に青倉北向地区、森中条地区の22世帯57人に避難勧告が発令されました。

対象地区の方々は青倉公民館、森公民館に避難され、不安な一夜を過ごされました。

翌16日には、降雨のピークが過ぎ、天候の回復が見込まれたため、午後4時に、避難勧告は解除されました。

また、屋敷地区では中津川の増水に伴い1世帯3名が屋敷公民館へ自主避難しました。

今回の台風26号では、村内において大きな被害は発生しなかったものの、翌週の25日～26日にかけては台風27号が接近するなど、不安が拭えない状況が続きました。

《今後の対応》

現在、砂防堰堤に堆積した土砂の排出作業を行っています。今後は損傷した堰堤の復旧作業も順次行う予定です。

村では、引き続き災害警戒本部を置き、警戒態勢を継続します。

【問合せ先】

栄村災害警戒本部（総務課）

☎0269-87-3111

☎050-3583-2111（直通）

▲土砂でいっぱいになった砂防堰堤

地方教育行政功労者表彰を受賞　山田直廣さん

前栄村教育委員長の山田直廣さん（小赤沢）が平成25年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞しました。

山田さんは、3期12年にわたり教育委員として在職され、その間昭和53年以来となる学校統合や長野県北部地震の際の対応、教育施設の災害復旧などに尽力されました。

また、同じ功績に対して、全国市町村教育委員会連合会功労者表彰、長野県市町村教育委員会連絡協議会表彰をそれぞれ受賞されました。

人権擁護委員に島田たつ子さん

人権擁護委員に島田たつ子さん（箕作）が就任されました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受け、地域住民の人権意識の高揚と普及、また、人権が侵害された被害者の救済や相談にあたります。人権に関しての悩みごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

なお、平成22年から3年間ご尽力いただいた関谷知子さん（月岡）は任期満了により退任されました。

◇栄村の人権擁護委員
・上倉章夫さん（平滝）
・島田たつ子さん（箕作）

【問合せ先】
長野地方法務局飯山支局
☎0269-62-2302

地域活動助成事業により備品を整備しました

公益財団法人長野県市町村振興協会の地域活動助成事業（宝くじ普及広報事業）を活用して次の備品を整備しました。

◇今回整備された備品

森区	切欠区	村
除雪機械（スノーロータリー）1台	防災用品（テント・無線機・簡易トイレ・投光器・発電機・ストーブ）	消防備品（テント・消火栓ホース格納庫・消火栓用管鎗）

＊この事業の財源は、市町村宝くじ助成金が活用されています。

小赤沢地区で小水力発電システム稼働

信州大学が昨年10月にスタートさせた『地域における水資源の保全とエネルギー利用を検討する研究プロジェクト』により、小赤沢地区に小水力発電システムが設置され、実証実験が始まりました。

また、10月18日㈮には関係者のほか、秋山小の児童も参加して竣工セレモニーが行なわれました。

今後、発電した電力は小赤沢公衆トイレに供給され、発電量や消費電力のデータは、自然エネルギーの利活用のために使われます。

▶設置された発電システム。11ｍの落差を利用して、1・5ｋｗの発電が可能です。

体育の日イベント 栄村歩け歩け大会開催

気持ち良い秋晴れとなった10月14日（祝）体育の日に、さかえスポーツクラブ主催の栄村歩け歩け大会が開催されました。

昨年に引き続き、さかえ倶楽部スキー場を中心にしたコースで開催され、保育園児からお年寄りまでが2㎞、4㎞、7㎞の3コースに分かれ、それぞれのペースで秋の栄村の風景を楽しみながら歩きました。

また、ニュースポーツの体験も行われ、参加した皆さんはスポーツの秋を満喫している様子でした。

100台のクラシックカーが秋の栄村を走行

10月19日（日）約100台のクラシックカーが村内を走行しました。

これは、原宿～軽井沢～箱根～原宿までの1200㎞をクラシックカーで走行するイベント『ラフェスタ　ミッレミリア2013』の参加者の皆さんで、堺正章さん、清水國明さん、鈴木亜久里さん、片山右京さん、横山剣さんらの著名人も参加されました。

チェックポイントとなった役場前には、貴重なクラシックカーを一目見ようと、たくさんの村民の皆さんが集まりました。

第15回栄村収穫祭開催 約1000名が来場

10月27日（日）第15回栄村収穫祭が役場村民広場で開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが19の団体・個人の皆さんが出店され、テントには新米や野菜など秋の味が並びました。このほか、恒例の天ぷらの試食やお餅のサービスには長蛇の列ができ大盛況でした。今回はJAの農協祭も合同開催され、県内外から1000名を超える方が来場されました。

また、栄ふるさと太鼓や信州プロレスの皆さんも訪れ終始賑やかな収穫祭となりました。

無茶フェス2013 in栄村 盛大に開催

10月27日（日）収穫祭終了後の午後からは、栄中学校体育館を会場に『無茶フェス2013in栄村』が開催されました。

今回は信州プロレスのほか、アップル学園のライブ、中学生考案のオリジナルあんぼの販売など盛りだくさんの内容で行われました。

また、メインのプロレスでは、プロレスラーの藤波辰爾さんや天龍源一郎さん、新潟プロレスの皆さんも登場し、大迫力の試合に会場からは大きな声援が送られていました。

▲今回は6人の中学生も計画、 運営に携わりました。

第35回栄村総合文化祭

～好きです　ふるさと栄村～

10月20日（日）第35回栄村総合文化祭が開催されました。あいにくの雨降りとなりましたが、会場のかたくりホールに入りきれないほどの大勢の方が来場されました。

また、今回は栄中学校の生徒2名が司会を務め、名コンビによる進行も好評でした。

小中学校音楽発表

午前中の小中学校音楽発表は、栄中学校吹奏学部の演奏で始まり、各小中学校の合唱や合奏、栄小・秋山小合同での合唱を発表しました。

みんなのステージには12組が参加

午後から開催されたみんなのステージでは、12組の皆さんが参加し、歌やダンス、金管楽器のアンサンブルにバンド演奏など、自慢の腕前を披露しました。

年々メンバー増加中！？小滝ハーモニカ合奏団

栄小・秋山小合同合唱

栄中ドリームスのダンス

栄ふるさと太鼓（男の子もがんばってます）

チャリティーバザー フリーマーケットも大好評

村民の皆さんからご協力いただいたチャリティーバザーは今年も大好評。用意した品物はあっという間に売り切れ状態でした。

フリーマーケットにも多数の方が出店し、こちらも大盛況でした。

文化会館では例年同様、文化祭前後の一週間を栄村文化週間として、保育園児、小中学生の絵画や習字、村民の皆さんから出展された趣味の作品、桐下駄などの工芸品が多数展示されました。期間中は村内外から多くの皆さんにご覧いただきました。

作品の展示

村内河川の水質調査結果について

村では、村内の中小河川及び集落内水路の水質検査を年1回行なっています。今年は9月26日に中津川水系2地点及び千曲川水系7地点の合計9地点で実施しました。中条川については橋の架替え工事等のため今年も実施しませんでした。

検査結果は、過去の調査結果と比較して、中津川水系、千曲川水系とも大腸菌群数*1は、基準値を大幅に超えていましたが、大腸菌群数を除いた生活環境の保全に関する項目に関しては基準値を下回っていました。大腸菌群数は水量や水温にも大きく左右されます。今年は台風による大雨で土砂等が河川に流入し、一緒に微生物も河川に入った事が大腸菌群数値の上昇した原因のひとつではないかと考えられます。

きれいな川を守っていくためには、台所から揚げ物などに利用した油を流さない、（新聞紙や固める製品を使って燃えるごみとして出す）タバコの吸殻、ガムなど水に溶けにくいもの、調理くずや残飯などを流さないなど皆さんの心がけが必要です。また田畑への肥料の適量使用や堆肥を野積みしたまま放置しないようにしましょう。また、家庭での洗剤、入浴剤などは適量使用に努めましょう。浄化槽等設置の有無に関わらず汚れた生活排水等は河川に流さないようお願いいたします。

		大腸菌群数の推移（単位：MPN/100ミリ㍑）					BOD（生物化学的酸素要求量）の推移（単位:mg／㍑）		
		H21	H22	H23	H24	H25	H23	H24	H25
橋場川	橋場川橋	12000	2900	4000	5000	7900	0.5未満	0.5未満	0.6
小箕作川	小箕作橋	2400	2200	2000	28000	4900	0.5未満	0.5未満	0.5未満
大巻川	大巻橋	3400	1500	1800	20000	4900	0.5未満	0.5未満	0.7
横倉	集落内水路	13000	4400	6000	80000	1300000	0.5	0.6	1.6
森	沢尻橋	9000	9300	24000	110000	24000	0.5未満	0.5未満	0.5
千曲川	宮野原橋	2700	4600	1700	9000	35000	0.5未満	0.5	0.6
志久見川	志久見橋	2800	2200	1300	31000	17000	0.5未満	0.5未満	0.8
小赤沢川	小赤沢橋	1100	210	300	1300	3300	0.5未満	0.5未満	0.5未満
中津川	秋山小学校下	300	420	200	1300	1100	0.5未満	0.5未満	0.5未満

●河川水の汚濁指標●

	BODの数値
大変きれいな水	0.5未満
きれいな水	1.0未満
水浴可能程度の水	2.0未満
少し汚れた水	3.0未満
汚れた水	5.0未満
大変汚れた水	5.0以上

※大腸菌群数

大腸菌群数は、人間又は動物の排泄物による水の汚染指標として用いられます。大腸菌には、腸内に生存しているもののほか、草原や畑などの土中に生存しているものも含まれますが、一括して大腸菌群として測定しています。

※BOD（生物化学的酸素要求量）

河川水などの有機物による汚濁の程度を示すもので、有機物質が酸化分解されるときに消費される酸素の量を表し、数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示しています。

不妊治療費助成事業について

栄村では、平成24年4月から不妊治療を受けているご夫婦に、その費用の一部を補助する事業を行っています。お子さんを望まれていて不妊治療をされている方がいましたら、ぜひご活用ください。

◇助成を受けられる方
①法律上の婚姻関係で、不妊治療を行っているご夫婦
②継続して1年以上栄村に住所を有する方
③医療保険に加入している方
④村税等の滞納がない方

◇助成額および期間
長野県が行う不妊治療に関する助成を受けることが出来る場合は、その助成額を除いた額になります。

◇申請方法
助成を受けるには、申請書類の提出が必要です。県が行う助成と手続きが異なりますので、医師の証明を受ける前に住民福祉課健康増進係へお問い合わせください。

【問合せ先】
住民福祉課健康増進係
☎０２６９-８７-３０２０

発達障害支援フォーラムの開催について

中学時代にひきこもりを経験した方が、現在大学に通い家庭科教師を目指すまでに歩んできた道のりをその方のご家族・支援者と共にお話いただきます。
どなたでも参加できますので、講演内容に興味のある方、現在同じような悩みを抱えて困っている方は、ぜひご参加ください。
申し込みは、左記の問合せ先までお願いします。

◇日時
平成25年11月30日（土）
午後1時～4時30分
（受付開始　午後0時30分）

◇会場
中野市豊田文化センター

◇講演内容
「障害のある人の進学支援」
信州大学教育学部　高橋知音氏
「つなぐ　広がる　私の目指す道」

【問合せ先】
北信圏域障害者総合相談支援センター〈ぱれっと〉
☎０２６９-２３-３５２５
FAX０２６９-２３-３５２１

長野県最低賃金が改定されました

時間額713円に

長野県の最低賃金が、10月19日にこれまでの７００円から７１３円に改定されました。
最低賃金は、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。常用・臨時・パート・アルバイト・嘱託などの雇用形態や呼称にかかわらず、原則として全ての労働者とその使用者に適用されます。

【問合せ先】
長野労働局労働基準部賃金室
☎０２６-２２３-０５５５
最低賃金に関する特設サイト
http://www.saiteichingin.info/

Q最低賃金額は都道府県ごとに違う事をご存知ですか？
Q賃金は最低賃金額以上になっていますか？
Q使用者は適用される最低賃金額を周知していますか？

チェックしてみましょう！

労働保険の加入は経営者の義務であり責任です

労働保険（労災保険・雇用保険）は、労働者を一人でも雇用していれば、原則として業種・規模の如何を問わず労働保険の適用事業となり、事業主は成立（加入）手続を行い、労働保険料を納付しなければなりません。
労働保険は、雇用管理上欠かすことのできない重要な制度です。
しかし、いまだに未加入の事業所がみられます。まだ加入されていない事業主の皆さん、この機会に労働保険制度をご理解いただき、1日も早く加入しましょう。

◇労災保険とは、労働者が業務上や通勤によって負傷したり、病気になった際に、必要な給付を行う制度です。

◇雇用保険とは、労働者の失業時の生活安定または再就職の支援のための保険給付を行う制度です。また雇用の確保・安定のため、事業主の方に対しても各種助成事業を行っています。

【問合せ先】
飯山公共職業安定所
☎０２６９-６２-８６０９

平成25年分青色申告決算等説明会のお知らせ

信濃中野税務署では、青色決算書の作成方法や作成にあたっての注意点などについて、説明会を開催します。

説明会で使用する資料は、当日会場で配付します。

①飯山市会場（飯山市公民館）
◇日時
平成25年12月5日（木）
・農業所得を有する方
午前10時～正午
・営業、不動産所得を有する方
午後2時～午後4時

②中野市会場（中野市民会館）
◇日時
平成25年12月9日（月）
・農業所得を有する方
午前10時～正午
・営業、不動産所得を有する方
午後2時～午後4時

【問合せ先】
信濃中野税務署個人課税部門
☎0269-87-3151

平成25年分農業所得申告（白色申告）税務講習会の開催についてお知らせ

平成25年度の農業所得申告の留意点や税法改正の内容等について、農家の皆さんの理解を深めるため講習会を開催します。

◇日時
平成25年11月15日（金）
午後3時～
◇会場　かたくりホール
◇講師
信濃中野税務署担当官
◇内容
・平成25年度農業所得申告の留意点
・平成26年以降の対応
※平成26年1月以降、所得税の申告が必要ない方も記帳の義務化、帳簿等の保存が必要になります。

【問合せ先】
JA北信州みゆき営農部
農業企画課
☎0269-62-5600
役場会計税務課会計税務係
☎0269-87-3111

個人住民税の特別徴収のお知らせ

特別徴収とは、個人（給与所得者）の村県民税を給与の支払者が毎月の給与の支払いの際にその人の給与から天引きして、市町村に納める方法のことです。

◇特別徴収のメリット
従業員の方にとっては、毎月の給与から天引きされるので、納め忘れや納税の手間が省けます。また、1年分の税額を12回に分けるので、普通徴収（年4回）に比べ納めやすくなります。

◇給与支払者の事務
役場から税額の印字された通知書及び納付書を送付しますので、事業所の方が税額を計算する必要はありません。通知書に基づいて毎月の給与から天引きし、翌月の10日までに納入していただきます。

◇特別徴収義務者の指定
個人住民税を特別徴収により納めるには、事業者が村から特別徴収義務者の指定を受ける必要があります。詳細については、会計税務課へお問い合わせください。

平成26年度から個人住民税の均等割の税率が変わります

『東日本大震災からの復興に関し、地方自治体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律』に基づいて、地方公共団体が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、平成26年度から臨時的に個人住民税の均等割の税率を引き上げることになりました。

《現行》
◇税額　4500円
内訳　村民税　3000円
　　　県民税　1500円
※平成25年度課税分まで

《引き上げ後》
◇税額　5500円
内訳　村民税　3500円
　　　県民税　2000円
※平成26年度～35年度

【問合せ先】
会計税務課会計税務係
☎0269-87-3111
☎050-3583-2114（直通）

家屋を新築または解体したら届出を

家屋などの建物は固定資産税の課税対象です。新築・増築または解体をしたときは、会計税務課へご連絡ください。

◇新築・増築の場合
役場の担当者が家屋調査を実施し、翌年度から課税されます。

◇解体の場合
届出書を役場に提出してください。役場の担当者が解体されたことを確認し、翌年度から課税対象外になります。

【問合せ先】
会計税務課会計税務係
☎0269-87-3111

社会福祉協議会からお知らせ

《歌と踊りと三味線　笑いと涙の歌謡ショー開催のお知らせ》

◇日時
平成25年11月10日（日）
午後1時30分～午後4時

◇会場
かたくりホール　※入場無料

◇内容
歌謡ショー（歌を楽しむ会）、津軽三味線（津三音会）、舞踊（花房流）
※故藤木寿堂先生のコーナーも予定しています。

◇送迎バス
送迎をご希望される方は社会福祉協議会までご連絡ください。

《秋山地区『心配事相談会』の開催について》

秋山地区の皆さんを対象に『心配ごと相談会』を開催します。

◇日時　平成25年11月15日（金）
午前9時～正午

◇内容
・心配ごと相談
・お茶飲みサロン
・チャリティバザー

◇送迎バス
8時30分　和山バス停
8時40分　上野原バス停
8時50分　屋敷バス停

【問合せ先】
栄村社会福祉協議会
☎0269-87-3450

林業退職金共済制度（林退共）からのお知らせです

林業の仕事をしていたことがありませんか？

林業退職金共済制度（林退共）に加入していたにもかかわらず、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていて、ご自身が林退共に加入していたかわからない方についてもお調べします。

また、り災された共済契約者及び被共済者の皆さんに対し、各種手続（共済手帳の紛失、退職金の請求等）の必要が生じた場合は、可能な範囲において速やかに対応しますので、最寄りの支部または本部へご相談、お問い合わせください。

※詳細はホームページでも案内しています。
http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/

【問合せ先】
独立行政法人
勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
☎03-6731-2887

女性の人権ホットライン強化週間について

11月18日（月）～24日（日）は全国一斉『女性の人権ホットライン』強化週間です。週間中は、通常の時間帯を延長して、夫やパートナーからの暴力やストーカーなど、女性をめぐる様々な相談をお受けします。

◇女性の人権ホットライン
☎0570-070-810

◇受付時間
午前8時30分～午後7時
（土曜・日曜日は午前10時～午後5時まで）

なお、法務局飯山支局及び飯山人権擁護委員協議会では、次の日程で特設相談所を設置しますので、ぜひご利用ください。

◇日時
平成25年11月20日（水）
午前9時～正午

◇会場
長野地方法務局飯山支局
※相談は無料で、秘密は固く守られます。

【問合せ先】
長野地方法務局飯山支局
☎0269-62-2302

保健だより

手強いぞ!! “ノロウィルス”
～「食品から人」だけじゃない 「人から人」にも感染～

特に冬に流行する感染性胃腸炎の原因となる“ノロウィルス”は感染力がとても強く、家庭や集団施設では特に注意が必要です。

感染すると1～2日で吐き気・嘔吐・下痢（水様便）・腹痛・発熱など風邪に似た急性胃腸炎の症状が現れ、症状が治まっても2～3週間はウィルスが便により排泄されます。

特に高齢者、幼小児は嘔吐がひどければ脱水症となり重症化することもあります。「ノロウィルスかも・・・？」と思ったら早めに医療機関で受診してください！

◇感染の原因は、
①空気感染　②嘔吐物からの飛沫感染　③接触感染

◇一番の予防は、
・こまめに石けんで手を洗い、うがいをすること！
・“カキ”などの貝類は、中までよく加熱してから食べること！

もし　かかってしまったら… 『人にうつさないようにしましょう！』

嘔吐物や便の処理が重要ポイント

患者のふん便や嘔吐物には大量のウィルスが含まれています。処理する際には、手袋・マスクをし、ウィルスを吸い込まないよう汚物はビニール袋に入れてしっかり縛りましょう。その後、やや濃いめのハイター液に浸したタオルできれいにふき取り、十分に換気しましょう。

汚れた衣類の消毒は？

煮沸か漂白剤などで消毒し、洗濯乾燥機やアイロンなどで高温殺菌しましょう。

★★★★★★★★★★ 心理相談のお知らせ ★★★★★★★★★★

村では、乳幼児のお子さんを対象に年2回、心理相談を実施しています。お子さんの発達で気になることや心配なこと（言葉の発音が不明瞭で聞き取りづらい、よく動き回って落ち着きがないなど）がある方は、臨床発達心理士が相談をお受けします。相談を希望される方は、お気軽にお申込みください。

◇期　日　　平成25年11月25日（月）　　　※時間は予約制になっています。
◇申込・問合せ先　　住民福祉課健康増進係　☎0269-87-3020

インフルエンザの予防について

インフルエンザは発症後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症などの思い合併症が現れ、入院治療を必要とする方やお亡くなりになる方もおられます。

インフルエンザを予防する方法としては、以下があげられます。

1）流行前のワクチン接種

村ではワクチン接種を推進しています。インフルエンザワクチンは、感染した場合の重症化防止に有効と報告されており、国内でもワクチンを接種する方は年々増加しています。ワクチン接種後、効果が現れるまでに通常約2週間程度かかりますが約5ヵ月間その効果が持続するとされています。

2）外出後の手洗いとうがい

手洗いは手指などに付着したインフルエンザウィルスを取り除くのに有効な方法で、感染症予防の基本です。外出後には感染症予防のため、手洗いとうがいをするようにしましょう。

3）適度な湿度の保持

空気が乾燥すると“のど”の粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。冬は暖房器具の使用により乾燥しやすくなりますので、加湿器を使用するなどして適切な湿度（50%～60%）を保つことが重要です。

4）十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がけましょう。

5）人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、ご高齢の方や持病をお持ちの方、疲労が溜まっていたり睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず人混みに入る可能性がある場合は、不織布（ふしょくふ）製マスクを着用することで、ある程度の飛沫等を防ぐことができます。

《栄村のインフルエンザ予防接種に対する助成制度》

対象者	助成金額	備　考
65歳以上の方	1,100円	※60歳以上で心臓・じん臓等に機能障害がある方を含む
中学生以下の方	750円（1回あたり）	※13歳未満の方は2回接種となります。

＊65歳以上の方は、この助成制度を利用して近隣の医療機関でも予防接種を受けることができますが、医療機関ごとに接種料金は異なります。栄村診療所では、高校生・大人が2500円、中学生以下は1回あたり1,500円で接種できますので、65歳以上の方であれば1,400円の自己負担で接種できます。

◇栄村診療所では11月から予防接種を開始します。なお、予約の必要はありません。
◇保育園児及び小学生については、計画的に集団接種等を行う予定ですので個別通知によりお知らせします。

【問合せ先】住民福祉課健康増進係　☎0269-87-3020

魅力ある広域エリアの玄関口へ

新幹線飯山駅開業に向けて

◇「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」の重点支援地域に決定

長野県では、しあわせ信州創造プラン及び長野県観光振興基本計画において「山岳や高原、美しい景観、独自の伝統・文化などの長野県の強みを活かし、世界水準の山岳高原観光地を形成すること」を目標のひとつに掲げ、滞在型の観光地づくりに取り組んでいくこととしています。

この取り組みを進めるため有識者からなる研究会を設置し、今後の観光地づくりに必要な取り組み等を議論しています。その研究会において、次の2つの視点による議論の結果、今後の観光地づくりを支援する「重点支援地域」に下表の信越9市町村（信越自然郷）エリアを含む3地域が推薦を受けました。

①県内他地域のモデルとなる可能性が見込まれる地域
②5年間で成果が見込まれる地域

地　域	選定理由・条件
信越９市町村広域観光連携会議	・新幹線飯山駅を核にした連携が進んでおりテーマの共有もされている。 ・今年度中にマーケティングを含めたマネジメント組織が設置される予定 ・山岳高原リゾートに絞った形で事業を見直すことを条件として選定
木曽町	〈略〉
大町市・白馬村・小谷村	〈略〉

この推薦を受け、長野県は、推薦地域との調整の結果、３地域を「重点支援地域」に決定し、今年度中に「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」にむけた構想をまとめます。これに基づき来年度以降、当地域は、県の支援を受けながら、事業を実施していくことになります。

◇長野県「滞在交流型プログラム群創出支援事業補助金」の対象事業に選定

長野県が公募した「滞在交流型プログラム群創出支援事業」に信越９市町村広域観光連携会議として申請したところ、この度事業選定、交付決定を受けました。この事業は、国内外から選ばれる競争力の高い魅力ある滞在交流型の観光地づくりを促進するため、広域旅行商品のプログラム群を創出することを目的とした先進的な取り組みに対し、補助金が交付されるものであり、選定数が県内１団体だけの事業です。

交付決定をうけ、当会議では、25年度、26年度の２か年にわたり、信越自然郷エリアにおける滞在交流型プログラム群の創出に向けた事業を実施しますが、今年度は次の事業を計画しています。

- **信越自然郷のコンセプトや魅力を記載したコンセプトブックの制作**
- **旅行商品を造成する実務者を対象としたワークショップの開催、信越自然郷現地研修の実施**
- **広域旅行商品を掲載したパンフレット、ホームページ等販売訴求ツールの作成**
- **マーケティング調査**
- **旅行会社やマスコミ関係者の招へい　　など**

◇一茶生誕250年夏まつりで信越自然郷PR

一茶生誕250年夏まつりが8月31日に信濃町旧柏原小学校グランドにおいて開催され、当会議も出展し、信濃町内外から訪れた皆さんに「信越自然郷」と「2015年春北陸新幹線飯山駅開業」をPRしました。

当会議ではエリア内の主要イベントにおいて新幹線飯山駅開業と信越自然郷PRを実施いたします。「うちのイベントでも」とお声掛けいただければ、該当市町村と調整し、できる限りブース出展等によるPRをしていきたいと考えていますので事務局までお声掛けください。

・千年風土の豊穣の地・
信越自然郷

信越９市町村広域観光連携会議
事務局：飯山市役所経済部広域観光推進室　☎0269-62-3111

みゆき野かわら版＋津南情報
岳北地域＆津南町情報コーナー

第２回ジオパークツアー開催

10月12日に、栄村と津南町が連携し認定を目指す(仮)苗場山麓ジオパークを観察するツアーが開催されました。秋山郷のジオサイト(地質等を観察できる場所)について、前回は津南町側(見玉～逆巻～穴藤)、今回は栄村側(屋敷～上野原～小赤沢)をめぐりました。

苗場山や鳥甲山の噴火、中津川渓谷が作り出した自然を楽しみながら、ガイドの解説に耳を傾けていました。

◀栄村・屋敷の布岩で説明を受ける参加者たち

津南町

木島平のブランド米
25年産「村長の太鼓判」「合格木島平米」販売開始

平成25年産の木島平ブランド米「村長の太鼓判」「合格木島平米」の販売を開始します。このお米は化学肥料を使わず、村の有機センターで作られる堆肥を使用して、農薬も長野県の慣行栽培基準から50％以上削減した特別栽培米で、収穫前に圃場ごと食味値を検査し、一定基準以上の良食味米を厳選したものです。

農業振興公社や村内直売所にて販売しております。お歳暮など贈答品にご利用ください。

【問合せ先】◇購入について
（財）木島平村農業振興公社 ☎0269-82-4410
◇ブランド米について
木島平村役場交流産業室 ☎0269-82-3111

木島平村

飯山市

飯山線 走る農家レストランが初夏に引き続き開催されました

10月26日、北陸新幹線開業前イベント「飯山線走る農家レストラン」が開催され、「走る農家レストラン号」となった飯山線車両が長野駅～森宮野原駅で運行されました。

この企画は、地域の大切な交通機関であり、美しい自然の中をゆっくり走るローカル線であるJR飯山線の車内で郷土料理を召し上がっていただき、おいしい旅を楽しんでいただく企画で、今年6月に続いての開催となりました。台風27号の接近によるキャンセルなども心配されましたが、２両編成の車内は満席で、乗車されたお客様も、配膳される郷土料理とともに北信濃の秋の雰囲気を味わっていました。

走る農家レストラン号は、森宮野原駅で折り返し、上境駅で湯滝温泉コースのお客様が、信濃平駅で高橋みゆき人形館・寺巡りコースのお客様が下車され、それぞれのコースで飯山を楽しまれていました。

野沢温泉村

おぼろ月夜の館特別展
筑井孝子とゆかいな仲間part2

群馬県を中心に日本各地で創作活動されている、筑井孝子先生が描いた各地の風景画や、今年出版した『スケッチBook V』で発表した原画作品と、教え子の石原祐太君が描いた作品を展示。祐太君は、障害を乗り越えて大好きな絵を小学校低学年から現在まで筑井先生師事のもと、「自画像」「静物画」などを中心に４号から５０号までの作品を描いています。ぜひご覧ください。

■期　　間／11月12日（火）～12月15日（日）
■開館時間／9：00～16：30
■入 館 料／大人300円　小中学生150円
■休 館 日／毎週月曜日

9月火災・救助・救急出動件数

	火災	救助	救急	栄村の搬送医療機関
飯山市	1	5	85	飯山日赤 6
木島平村	0	0	11	津南病院 1
野沢温泉村	0	0	9	その他 1
栄村	0	1	8	不搬送 0
管轄外等	0	0	4	十日町地域消防署との応援協定による出動を含みます。

気のゆるみ　防火は　消すより心掛け

11月の納税等

○固定資産税　○国民健康保険税
○浄化槽使用料　○農集使用料
○保　育　料
○ケーブルテレビ使用料

納期限は 12月2日（月）です

口座振替日
農協・郵便局　11月22日（金）
八十二銀行・県信　11月25日（月）

※振替指定口座の残高を事前にご確認ください。

発 行 栄村議会
責任者 福原和人
編 集 議会報編集委員会

第168号

台風18号の被害調査（秋山郷：国道405号線）

平成25年 第3回定例会・第4回臨時会

平成25年9月6日に開会された第3回定例会は、村長より議案提出のあった一般会計・特別会計補正予算案8件、財産の取得案1件、請負契約案1件、並びに平成24年度各会計の決算認定案12件、計22件について審議並びに承認されました。

会期中の9月16日、台風18号により栄村も甚大な被害を受けました。

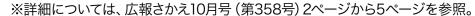
10月17日には、第4回臨時会が開催され、台風18号被害などの議案が審議され承認されました。

9月定例会・10月臨時会　主な可決案件

案件名	内容
◆平成25年度栄村一般会計補正予算第3号について	・木質チップ製造施設用地代及び機械購入費など ・補正額：147,485千円
◆平成25年度栄村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算第1号について	・前年度精算に伴う療養給付費等の過年度還付金など ・補正額：10,021千円
◆平成25年度栄村後期高齢者医療特別会計補正予算第1号について	・後期高齢者医療広域連合納付金 ・補正額：1,629千円
◆平成25年度栄村介護保険特別会計補正予算第2号について	・国庫支出金の返還金・介護給付費準備基金積立金 ・補正額：3,219千円
◆平成25年度栄村介護サービス特別会計補正予算第1号について	・パート職員賃金・送迎車のリース料など ・補正額：620千円
◆平成25年度栄村簡易水道特別会計補正予算第2号について	・穀類乾燥調製施設建設に伴う給水工事費など ・補正額：11,320千円
◆平成25年度栄村生活排水処理特別会計補正予算第2号について	・清掃委託料 ・補正額：1,000千円
◆平成25年度栄村ケーブルテレビ特別会計補正予算第1号について	・自営柱の移設及び予備機械の購入 ・補正額：2,329千円
◆財産の取得について	・北野天満温泉に木質チップボイラーの導入 ・取得価格：21,525千円
◆平成25年度　東日本大震災復興交付金　被災地域農業復興総合支援事業　穀類乾燥調製施設建設工事請負契約の締結について	・穀類乾燥調製施設の建設 ・工事場所：箕作 ・相手方：井関農機株式会社 ・契約金額：261,450千円
◆平成25年度栄村一般会計補正予算第4号について	・台風18号に伴う災害復旧費など ・補正額：106,320千円

平成24年度　一般会計・特別会計　歳入歳出決算額

区　分	一般会計	特別会計（11会計）
歳入額	75億9,099万円	14億8,124万円
歳出額	68億3,421万円	14億2,045万円

※詳細については、広報さかえ10月号（第358号）2ページから5ページを参照。

平成24年度
一般会計及び特別会計決算 討論

平成24年度一般会計、特別会計決算について、それぞれ賛成討論が行われました。

◆一般会計決算　鈴木 敏彦 議員

平成24年度一般会計について決算討論をします。

東日本大震災が発生した翌朝、3月12日、誰もが予想しなかった震度6強の地震に本村が襲われ、物質的にも精神的にも甚大な被害を受けてから2年6ヶ月が経過しました。震災からの復旧へ、誰もが体験したことのない下で、手探りではありますが、村民自ら役場職員、消防団等々心を一つに、又全国の支援を得て復旧に取り組んできました。結果、東北地域と比較し格段の速さで復旧が進んでいます。その背景には自立の村づくりをしようとする村民の意欲と熱意があると思っています。東北に隠れた被災地として報道などされましたが、この場を借りて支援していただいた全国の皆さんに心より感謝申し上げます。

今回の討論は、数値的なこと、財政の使われ方の比率などは、村が公表し、監査委員から精査された報告も示されているので、細かくは触れません。復旧を優先させる中にあって、福祉、教育、克雪など、これまでの基本的な村民の暮らしを後退させていない施策については評価できるものです。復旧・復興を含む施策に使われている財源は、震災の復旧・復興などの名目で出ている国や県などからの交付金・基金です。それは本村がいまだ経験したことのない、青天井的な状況になっています。復旧・復興と言っていますが、村民の考え、思い、集落の将来など充分に反映したものかどうか、検討、精査することが求められています。

国や県などから計画の催促、時間の問題などに対応しなければならない現状にあることは重々承知しています。国や県の現在のシステムから、職員だけを攻める状態にはありません。だからこそ、復興交付金や基金に頼ることをなるべく押さえ、村の将来を展望し、自立の村づくりを決定した初心に立ち返り、自主的財源の少ない本村にあった財政使用の精査、検討、研究が必要になっていると思います。予算を計上する際には、基本的な事業内容の説明は当然ですが、事業の運営母体、維持管理、将来の方向性、見通しなどを示すことは必要不可欠な事項です。国や県などからせき立てられる中にあっても、財源、原資（資金）を村民にいち早く知らせ、主に行政サイドからの試案（試みの案）を作るのではなく、多少の時間をかけても村民の知恵と力を引き出す努力をし、短期、中期、長期の村づくり計画を立案し、村民の幸せを持続させることが強く求められています。また、震災の中で緊急雇用をした職員への将来を検討する事が大切です。お金（交付金や基金、補助金など）は、村民が安心して住み続けられる村づくりの土台、基礎づくりに使われるものだと思います。予算、財政の執行にあたって、現状では直接村民に還元されているものが少ないように思います。専門家やコンサルなど、委託費用への支出が多いことに注視する必要があります。

執行機関、議員も同様ですが、この事業を完成、完結させれば、高齢化率の高い本村にあって、集落や村民が元気になる、もっと生きていこう、生まれ育った集落に住み続けたいと意欲が持てる村づくりを進めることが仕事であり復興であると思います。

平成24年度の一般会計決算に賛意を表明し発言を終わります。

◆特別会計決算　山本 千津子 議員

平成24年度特別会計歳入歳出決算につき、賛成の立場から討論を行います。

震災後2年目となる平成24年度特別会計決算ですが、各会計を合計すると、歳入約14億8,100万円、歳出約14億2,000万円となりました。各会計ごとに適切に処理されています。

国民健康保険事業会計の中には、医療給付費があり、高額にかかった医療費の補助があります。薬代が月に多くかかるので困っているとの住民の声を聞きます。ジェネリック医薬品を利用しても費用は嵩みます。また、歯科診療所では運営費補助金が198万円余りありました。

国民健康保険施設会計では、内科診療所のレントゲン装置を1,290万円で新しくしています。患者数は月平均608人で例年と同じであります。歯科は、患者数月平均184人となっており、内科・歯科とも診療収入は昨年度より特に増減はありません。秋山診療所会計も適切に処理されています。

75歳以上の後期高齢者医療会計ですが、一般会計からの繰入金が1,456万円余りあり、保険料の収入は1,476万円で、後期高齢者医療広域連合の納付金が2,947万円支出されています。これは、納付金のために一般会計からの繰入が必要だということになっています。国は75歳から家族と違う保険に加入させる後期高齢者医療制度をやっていますが、これを止めて元の保険体制に持っていくべきです。

介護保険特別会計は適切に処理されています。介護サービス特別会計も適切に処理されています。ヘルパーへの応募が無くて困っているとのことですが、探す方法をもっと考えねばなりませんし、また、働く条件を良くしていかなければなりません。長野県には元気な高齢者が多いですが、サービスを受けられる場合は遠慮しないで受けてほしいと思います。少しでも異常な様子があれば早めに報告し、また、行政も大丈夫だろうと勝手に判断しないで適切な対応をしていただきたいと思います。特に一人暮らしの方は我慢しないで心身とも苦しい時は早く助けを求めてほしいと言われています。早めの対応が寝たきりにならないということです。

簡易水道会計は一般会計からの繰入金が約1億2,300万円あり、公債費の財源繰出金の元金に充てられています。つまり、この繰入金が上水道の借金返済に充てられるということです。災害復旧の工事が24年度も盛り込まれました。

生活排水処理会計も一般会計繰入金が公債費元金の返済に一部充てられていることになっています。災害復旧費もあります。

農業集落排水会計は、歳入が増えなくて大変だということですが、適切に処理されています。

スキー場会計では、昨年度よりゲレンデコース使用料が少なくなっています。気持ちを緩めないで営業に精を出していただきたいと思います。レストラン収入が50万円近く減っています。「美味しいものをお客様に出す」これに尽きるのではないかと思います。村民のアイデア料理に耳を傾けて、是非、取り入れて下さい。

ケーブルテレビ会計は、雑木などの伐採処理にも費用がかかっていますので、日頃の点検、早めの伐採などをお願いします。

消費税増税が決まれば、庶民のとりわけ高齢者世帯は、生活が本当に厳しくなります。5%導入時に比べて、今は、内需が全く弱い状態であり、更なる景気が悪化すると言われています。住民サービスが後退しないよう切に要望して賛成の討論とします。

意見書５件を提出

意　見　書　名	送　付　先
日本国憲法第96条の発議要件緩和に反対する意見書	内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長
「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書	内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・財務大臣・衆議院議長・参議院議長
道州制導入に断固反対する意見書	内閣総理大臣・副総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・衆議院議長・参議院議長
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書	内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・環境大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長
TPP交渉からの撤退を要求する意見書	内閣総理大臣・外務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣

鈴木敏彦議員

復興へ、もっと集落・村民の意見を。

村長 来年度の予算に反映したい。

復興に関連して

質問 村の復旧から復興が歩みだした。村はもっと自治事務としての裁量があるはずだ。計画実施に当たって村全体、地域の課題、被災者個人の問題など様々な対応、検討が必要だ。①復興への村長の考えは。②総合サポートセンターの運営と活動は。③復興交付金事業などを進めているが、村民との合意、運営方法等どうなっているか。

村長 ①復興は、復興計画の平成28年度を目途ということであり、元の姿に戻すというふうに捉えている。

社協会長 ②7月に開所したが活動は充分だと思っていない。復興支援員を10月末頃から東部地区を拠点に活動してもらう考えだ。

総務課長 ③住民の合意は事業遂行の鍵を握る。事業の大半は住民が受益を受けるものと考える。また、予算獲得に先走ってという事もないわけではない。

社会保障・医療問題

質問 国は医療、介護、年金、子育て等全世代に痛みをもたらす計画を作っている。この医療の従事者からも見通しが持てないとの悲鳴も聞こえる。①社会保障改革の最終報告書を村長はどう受け止めているか。②介護保険の要支援1、2のサービスを保険から外し村に移すとしているが。③来年から70歳になる人の医療費が2割負担に、また、村の負担はどうなるのか。

村長 ①報告書が出されたところで決まってはいない。

住民福祉課長 ②介護予防、住宅支援、介護サービス等、今後も取り組んでいく必要があると考えている。③村に負担はない。

秋山小の存続・平和学習について

質問 ①存続へ多面的支援を。②平和学習はどのようであったか。

村長 今のところ教育委員会も独立校でいくということになっている。

教育長 ①秋山小については、地域の皆さんの思いを大事に、地域や学校からの要請に出来るだけ対応したい。②広島の式典参加は平和の大事さを意識する意義深いものであったと思っている。

山本千津子議員

東電と「住民の安全確保に関する協定書」を結ぶべきだ。

村長 原子力対策の議論が始まったばかりという感じがする。

10月完成予定の村の防災計画策定について

質問 栄村防災計画に放射能災害対策は。児童、園児の給食全食の放射性物質検査を行うべきだ。

村長 対策は盛り込む。村外への避難場所は考えてなく、交渉もしていない。災害基本法に高齢者や障害者のリスト作成の要綱がある。

教育委員会事務局長 県の方針で、去年５月より検査している。野菜が主である。地元野菜も検査したが異常なし。一週間分全品は検査していない。肉は1検体７００ｇ必要だ。

栄村の再生可能な自然エネルギー活用について

質問 ①北野温泉チップボイラー導入について②薪ストーブ購入補助について③太陽光利用の普及は。

村長 ③太陽光利用も考えてみる。北野温泉ボイラーはチップボイラーと併用型。直接水や温泉を沸かす方法ではない。灯油ボイラーは耐用切れである。

総務課長 ①チップボイラー研究は総務課と研究会メンバーとも情報提供している。切り捨て間伐材を個人でも森林組合に搬入できる予定だ。利用してほしい。

産業建設課長 ②ストーブ補助には契約事項があり、年間の木材利用数等もある。薪ストーブの補助について今は難しい。煙突などの設置は専門業者に頼んで安全に設置を。

東京電力柏崎刈羽原子力発電所と「住民の安全確保に関する協定書」を栄村でも結ぶべきだ。

質問 東電と「住民の安全確保に関する協定書」を津南町のように栄村も結ぶべきだ。県は東電との覚書を締結しているが、事故の保障の項目が掲載されていない。

村長 県から原子力災害対策編という防災対策マニュアルが来た。原子力対策の議論が始まったばかりという感じがする。

▲平滝にあるチップ用間伐材

相澤博文議員

3・12を「栄村の日」にできないか。

村長 今は、はっきりお答えできない。

3・12を「栄村の日」に定めることができないか

質問 3・12、震度6強の災害を受けた栄村は、復旧に全力を注いでいただいて、国県から、そして全国から支援をいただいた。1年目は仮設住宅で3・12を忘れてはいけないとのことから「灯明」を立て復興を祈る式を行った。そして2年目には森駅前で2百人を超えるボランティアの方が見え「かまくら」や「雪灯篭」そして3・12の絵文字を作り、灯明に子供たちが点火するなどして復興を祈願した。村では告知放送で村長の言葉があった。この復興への思いを繋げていき、村づくりに取り組んでいくべきであり、この日を「栄村の日」として位置付け、村づくりへの思いを改めて意識する日とする事ができないか。

村長 自治体が決める、そういう日というのには、合併した日というのがあるが、栄村の日にするには引っかかる。今は、はっきりお答えできない。

栄村の自然遺産と多くの生き物たちの取り扱いについて

質問 栄村には多くの生き物の自然遺産がある。モリアオガエルの生息地である上野原「天池」では、県が指定する地域よりスケールが大きい貴重な地と、最近の観察から判断されている。それは、村の中にも大変熱心に接している方がいる。このままでは準絶滅危惧種である状況から次世代に残すことさえ危うくなる。村の自然保護審議会で議論されるのは概ね開発行為に関する事で、このように生き物のこれからを心配する所がない。この扱いをどうしていくのか。

教育長 希少野生動物に属するモリアオガエルは、栄村の自然環境の重要な構成要素の一つである。総合的な保護の施策の充実推進が次世代に繋げていく事はとても大切である。自然保護審議会では、自然保護を推進する立場にある事が当然なので、調査をする人も含めて教育委員会で考えていかなければならないと思う。

▲モリアオガエル

桑原一富議員

森の里親促進事業を導入し地域の活性化対策を。

産業建設課長 慎重な研究が必要である。

栄村の森林事業促進について

○栄村全土の9割を占める豊富な森林を活かす事業促進について

質問 県の森林づくり促進支援金を今後積極的に活用する中で事業計画等できないか。

産業建設課長 栄村では、過去に「極野山菜生産組合」が森林を活用した地域づくりをしたいということで、作業道の開設にこの支援金を活用した。その他、枯れた木の除去に利用しているが、今後更なる研究はしたい。

○森林、森の里親促進事業を導入し、地域の活性化対策を。

質問 県が主体となって企業と市町村が中間役となり、企業は自治体などで森林活動をする中で、地域の活性化を図るものであるが。

産業建設課長 5～6年前に野沢温泉村、木島平村で取り組みましたが、企業側と県の制度の考え方に若干違いがあり、なかなか難しいところがある。栄村にも何社かの企業からの話があるが、慎重な研究が必要である。豊富な森林資源を活かした森林づくりを進めることは考えている。

坪野水路上せぎ改修工事計画内容について

○坪野水路上せぎのパイプライン化について

質問 この水路は、総延長8kmにもなる長い水路であり、多くの農地に供給する重要な水路である。高齢化が進む中で、年々維持管理に大変な苦労があります。荒廃農地を無くすためにも早い段階でのパイプライン化を実現されたい。

産業建設課長 取水口から百番までの2kmのパイプライン化ということで県営の中山間総合整備事業で進めたい。平成26年事業採択を受け、遅くとも平成27年から着手できるよう進めたいが、具体的な事は今後地元関係者の皆さんと説明会を持つ段階である。

阿部伸治議員

今後増えるであろう空き家再生に栄村独自の制度を作る考えは。

村長 村がどの程度嵩上げできるか即答できないが考えていく。

栄村史に関して

質問 栄村合併を機に旧水内村、堺村それぞれ村史が発刊されているが、合併後から震災を経験した今日まで詳細に記されているものが無い。時の証言者が健在なうちに編集委員会等立ち上げ、新しい栄村史の発刊を考えられないか。

村長 栄村は昭和31年9月30日に合併し57年経つ。合併前は各旧村ごとに公民館報が発行されていて、合併後は新しい栄村の館報が現在も発行されているわけで、村の出来事等はそれを見れば大抵のことはわかるようになっている。栄村過疎地域の自立促進計画（平成22年～27年）の中にもあったが、地震で宙に浮いた状態で進んでいない。また、時の証言者ということだが、記録したものはあるけど言葉で聞いたというのはあまり無い。大切な事と思うし、いずれにせよ村史というものは大事だと考えているのでこれから進めていきたい。

空き家再生利用の制度化について

質問 きめ細かな震災復旧のお陰で当村には現在、朽ち果てた廃墟と言えるものは少なくなっている状態と思う。これは、中山間地域には希な事で、村づくりや観光にとって有利だと考える。この状態を維持するために今後増えるであろう空き家再生に国の補助を使い、地域と共に手を組み、共に進めていく栄村独自の制度を作る考えはないか。

総務課長 国交省の空き家再生推進事業の中に活用タイプと言われるもので国、県、民で各3分の1負担の制度があるが国の負担率は変わらないので、民の負担を下げるかどうかは政策としてのトップの判断が必要になる。

村長 村の要項はこれからだが、相談に来てもらって村で検討するという事で良いと思う。補助事業の内容も国の要項に載っていれば問題ない。受益者負担を無くせという事だが、村がどの程度嵩上げできるか即答できないが考えていく。

島田伯昭議員

坪野水路を村のモデル水路に。

村長 採択になれば27年事業着手予定。

小水力発電併用型、坪野水路整備について

質問 坪野水路は今から約２００年前、全長（2水路合計）約10kmで、江戸時代より現在まで多くの人々の生活が成り立ってきた。水利権、維持管理等、多くの苦労の時代を経て現在に至っているが、坪野水路を再整備し、幸せな地域づくりのために小水力発電併用の坪野水路整備事業の道筋を求めるが。

産業建設課長 坪野水路は、来年地区指定を受け、一刻も早く事業着手をしたい。現段階で小水力発電型と併用の水路整備は考えていない。

質問 栄村の社会情勢が大きく変化した。高齢化、人口の減少、耕作地の減少等で水路災害に大きく影響が出る。村が一定の責任を持って管理運営をしていくモデル水路を受益関係者と協議し、維持管理を含め、水量や安全管理を行い、水を供給していく考えは。

村長 高齢化による水路管理の大変さは承知している。坪野水路については、パイプライン化で対応を進めている。26年度、県に採択申請を行い、採択になれば27年事業着手の予定である。

質問 坪野地区における小水力発電の売電量は3千万円以上となると試算されている。小水力発電と併用可能な水路整備に取り組んでいただきたい。坪野水路整備は、農業生活用水だけに絞るのか。

村長 パイプライン整備によって安定水量が確保できれば小水力発電も可能だが、現状では流量計算等、数字が出ていない。

▲坪野水路

樋口武夫議員

生涯現役・全員参加・世代継承型創出事業。この1年間で1億円の内訳と事業内容は。

商工観光課長 24年度事業で半年間。人件費と「JTB」「じゃらん」への委託料。

生涯現役・全員参加・世代継承型雇用創出事業について

質問 昨年10月より始まったこの事業は、3年間の計画で進められている。観光事業と特産品を開発し、雇用創出を図る加工品開発事業と伝統工芸伝承事業があったが、1年間で1億円の予算を雇用創出に50%、事業費に50%使えるということだったが、この1年間で1億円の内訳と事業内容は。

商工観光課長 10月からなので、24年度の事業費は3月31日までの半年間で5千万円で、人件費2，145万8千円、その他は「JTB」「じゃらん」への委託料を含めて2，500万円程である。ホームページの更新や商品づくりのための「JTB」による村民を含めた研修会を行ってきた。今、百年ごっつぉ、おもてなしのご馳走を中心にしたプロジェクトと雪遊び体験のプロジェクトの2つが誕生した。今これを具体的に事業化に向けて進めている。24年度には13名の雇用を、25年度は18名の予算を持ってこの緊急雇用に充てたい。加工品については「あわ焼酎」や「きび焼酎」も製品化し、漬物もきゅうり漬け、醤油の芋煮等の試作など製品化に向けている。伝統工芸事業については雇用に繋がる産業に結びつけていくというのが今現在難しい状況である。

質問 加工品開発は、村内で村民の雇用を考えているのか、この事業は村民がどう関わっていくかに目的があると思うし、地域の宝をどう商品に結びつけるかが今後の課題かと思う。地域おこしのサポート役として復興支援員の活躍が期待されるが、4人の支援員で充分なのか。地域が活性化をしていくために地域おこし協力隊を受け入れていく考えはないか伺う。

副村長 地域の期待に答えられる対応をしていきたい。サポートセンターの中で要望が出てきた暁には、地域おこし協力隊の申請をしていくことも可能だ。

石沢正議員

観光課職員、振興公社職員にプロ意識を持った営業マンを。

商工観光課長 人材の発掘は積極的な検討が必要。

除雪関係について

質問 除雪対策救助員、除雪オペレーターに長靴、防寒着等支給されているか。一般住宅周りの排雪を有料でブルドーザー除雪できないか。平成24年度道路危険箇所を1回も雪庇落としを実施していない路線が多くあり非常に危険を伴う。機械除排雪の場合、誘導員、助手をつけずに作業を実施している。危険を伴うので、その対策について。五宝木橋など冬期間1回も除雪を実施しないために雪害による破損箇所が多く見られる。オペレーターと救助員との賃金格差があり、格差是正について伺う。

村長 救助員、オペレーターは一所懸命にやっている。要望通りにいかないのが現状である。

産業建設課長 被服の貸与はしていない。賃金格差は経験年数、出勤手当などで対応している。住宅周りの除雪は道路除雪外ということで計画はしていない。雪庇落とし作業が滞っていたということは事実であり、状況により対応したいと考えている。

住民福祉課長 救助員は長靴、合羽などは2年に1度交互に支給し、長靴は3千円、合羽は4千円まで公費、超えた部分は個人負担となる。賃金は班長1万3千5百円、班員は1万3千円。国交省の公共工事の労務単価と同じである。

観光振興と今後の取り組みについて

質問 観光課職員、振興公社職員を民間業者に出向させ、プロ意識を持った営業マンを育てていく必要があるのではないか。東京栄村会、秋山苗場会の皆さんに故郷大使の任命について。民間観光業者との協力関係等について。スキー場の運営状況等について。

村長 民間観光業者を入れて観光振興をやっている。スキー場は17年間営業し、一般会計より年平均4千6百万円繰入しているのが現状であるが、借金は終わった。

商工観光課長 故郷大使ではなく、観光大使として5名任命し4名は振興公社単独、1名は津南町観光協会と連携。人材の発掘は積極的な検討が必要と考えている。

南雲成一議員

人口減少と少子高齢化、今後の見通しは。

村長 栄村の生産年齢人口は県内77市町村中４番目に低い。

農業振興について

質問 今年はライスセンター、来年は農産物直売所の建設が計画されているが、施設の管理運営、収支計画など重要事項が決まっていない。本来、施設を造る前に運営する組織や責任者を決め、計画段階から参加させるべきだ。また、先日全戸配布した直売所のアンケート内容は物足りない。農業振興の目的を充分踏まえ実施すべきだ。

産業建設課長 ライスセンターは時間的余裕がなく、利用者との合意形成が遅れ事業先行になってしまった。直売所のアンケートや施設の管理運営はコンサルタントを入れて研究し、農産物を売るだけでなく、村民の買い物利用も考えて作った。道の駅「またたび」の役員、従業員との検討会や管理運営が出来ると思われるグループと直売所の視察も実施した。今年中には方向性を出したい。

人口減少と行政サービスについて

質問 人口減少と少子高齢化、介護事業や冬期間の除雪体制など住民サービスに影響が出ている。今後の見通しはどうか。

村長 栄村の生産年齢人口は県内77市町村中４番目に低い43・8%、０歳から14歳も４番目に低い8・8%。反面65歳以上の高齢者は47・4%と高くなっている。また、看護師は毎年募集しているが応募が無く、村外からも広く募集をしている。

社協会長 ヘルパーとして23名が仕事をしているが、年配者もおり後継者が必要。９月から十日町市で開催されている「介護職員初任者研修」に栄村から６名が受講している。

住民福祉課長 雪害対策救助員は昨年から２名増員して17名体制になった。60歳以上も６名おり後継者の育成も必要。

産業建設課長 村直営の除雪オペレーターは24名で60歳以上が６名。資格取得も含めて後継者が必要。

商工観光課長 スキー場は23名を雇用する予定。17名が決まっており６名不足する。村民雇用を優先するが、希望者が無ければ村外からの雇用を考えている。

平成26年度栄村予算の樹立に向け提言書を村当局へ提出

委員会	提言
総務文教常任委員会	1. 震災の復興に全力をあげ、村民が希望の持てる村政施策をすすめるため、交付税の安定的確保に努めること。 2. 復興基金の使途に関しては、地域住民に潤いを与えるような事業計画を立てて進めること。 3. 村からの情報発信は積極的に実施し、日々新しい情報を提供して観光・産業・文化等地域の付加価値を高めること。 4. サポートセンターは、各集落の実態を正確に把握して具体策をつくり、更なる支援を図ること。 5. 人口減少問題に知恵を出し合い、空き家対策など目標を定めて積極的に取り組むこと。 6. 伝承文化、芸能、文化財保護に力を入れ、ジオパーク構想に積極的に参画すること。
産業社会常任委員会	1. 震災からの心の復興が強く求められている。社会保障制度が改正され、村の財政的負担、村民の負担が重くなる事が予想される。運営にあたって、サービスなどが後退しないように充分に配慮されたい。 2. 村の持っている豊かな自然と人材を積極的に引き出し、復興と総合的な観光事業に力を入れること。 3. 集落営農の拡充、農地の地力増進と有機農産物栽培の普及を進め、生産、加工、販売と一貫した農産形態を確立し、乾燥調製施設、直売所などの効率的な運営体制をつくり、消費者交流と販路拡大に今まで以上に取り組むこと。中山間地農業を守るために、村として断固TPPに反対すること。 4. 村の活性化のために自然エネルギービジョンの策定に取り組み、集落の存続に不可欠なもの、道水路の改修など取り組みを強化すること。

公民館報
さかえ
第286号
平成25年11月1日発行

■ 発行
栄村公民館
〒389-2792
長野県下水内郡栄村
■ 電話
0269-87-3111
050-3583-2115(IP)
■ 編集
栄村公民館報編集委員会

子どもたちの歌に感動

この秋、村の子どもたちは、桐の葉祭に始まり、３校音楽交流会、SBCこども音楽コンクール、村文化祭、栄小音楽会と感動の歌声を披露してくれました。

【3校音楽交流会】

10月11日（金）に栄村文化会館かたくりホールにおいて、村内小中学校合同による音楽交流会が開催されました。これは、普段、接する機会の少ない一流の演奏家による高い技術の演奏を鑑賞し、音楽の豊かさや良さ、美しさを味わい、自らも表現しようとする意欲や態度を高めるとともに、村内全児童生徒が一同に会し、音楽を通じてより交流を深めることを願って開催されました。

当日は、講師に飯山市在住の山崎浩先生、沼田秀美先生をお招きし、両先生の演奏、歌唱による音楽鑑賞、三校それぞれの音楽発表、三校による合同合唱などを行い、各校の発表後は、先生方よりきめ細かく講評していただき、最後は全員に歌唱指導をしていただきました。

村文化祭や栄小学校の音楽会前でもあったことから、子ども達も終始熱心に聞き、歌っていました。

栄中生徒の感想

「特別に来て下さった山崎先生、沼田先生によるミニコンサートが開催されました。歌う時の姿勢や口の開き方など、とても勉強になりました。お二人の一番すごかったのが声量でした。ホール中に響く声で迫力がありました。そして三校で歌い合いました。秋山小・栄小ともに元気いっぱいで感動し、わたしも元気になりました。」

【SBCこども音楽コンクール】

栄中　松澤達弥

10月16日ホクト文化ホールにてSBCこども音楽コンクールに全校合唱で参加し、かんてんパパ賞を受賞しました。今年度の全校合唱は「今までご支援をいただいた方やお家の方、地域の方に対して自分たちから元気を与えていこう」という思いを「地球星歌」の歌詞・楽曲に願いを込めながら練習をしてきました。大ホールで歌う機会を頂き、当日は緊迫した会場の中で一人一人の生徒が聴いて下さる方々に感謝の気持ちを伝えようと精一杯の表現をしてくれました。また、当日は遠方より大勢の方が応援に来て下さりお褒めの言葉を頂きました。生徒たちも励みになったと思います。ご声援ありがとうございました。

冬の準備怠りなく

忙しい稲刈りの時期も終わり、いよいよ秋も深くなり始めたなぁなどと思いはじめると、もうすぐそこまで来ている厳しい栄村の冬を考えてしまうのは私だけでは無いと思います。

今回は「冬に備えて」と「雪下ろし、雪かたづけに潜む危険」をテーマに書いてみたいと思います。私自身、栄村雪害対策救助員として13年間多くの出来事と先輩方の経験を教えていただきそれを元に皆様に伝えていけたらと思います。

まず冬が来る前に栄村に住んでいる人は必ず雪囲いをすると思います。窓、シャッター、ボイラー回り、そして大切にしている植木など、毎年「去年はどんなふうにやったけ?」などと考えながらしていませんか?毎年同じ木材、金物を使っていては必ず劣化による破損がありま す。今年は少し「本当に大丈夫か?」と確認してみたらいかがでしょうか?春先の重い雪により破損するのは皆様もご存知だと思います。大切な物を雪から守るといった点では悪い物は直す事は大切な事だと思います。少しでも頭の片隅に置いて見ていただけたらと思います。「冬に備える」事と言えば他にもスノーダンプ、スコップ、スノーロータリーなどの用具の手入れがあります。私自身、何度もスノーダンプに雪が張り付き屋根から落ちそうになったことがあります。スプレーやパラフィンの塗布は欠かせません。作業能率が良くなることで余計な力をつかうことなく疲労による事故も軽減されるはずです。

最後に近年の除雪において欠かせないのがスノーロータリーです。私たち雪害対策救助員にとってもなくてはならない機械です。年間300時間位使うので最も気を使い手入れと作業をしています。スノーロータリーは当然雪のない時期には使わずずっと倉庫の中で邪魔になる時以外動かす事がありません。雪が降り突然使い出すと故障する事が非常に多いです。余裕をもって雪が降る前に整備、点検を行い必要であれば修理をしないと必要な時に動かなくなる事があります。

事前の点検で心に余裕を!

点検は自分でも簡単にする事ができます。例えば走行、作業ベルト、油圧ホースの劣化、実際に動かしての異音ガタつきなどシーズンはじめはもとより、シーズン中にも気を配ると途中で故障して大変な思いをすることも軽減されると思います。作業の合間に点検をして何度も未然に故障する前に修理する事ができました。作業時において気をつけている事は、オーガーピンの緩みを常に確認して作業をしています。それによってピンの穴の拡大を防ぎ、ピンが飛びやすい、緩みやすいのを軽減する事ができます。高価なスノーロータリーを長く快適に使うために是非行ってもらいたいと思います。スノーロータリーは大変便利な機械ですが、大変危険も伴う事はご存知だと思います。作業中はそばには寄らない、周囲の確認を怠らないは最低限行いながら作業して行きたいです。他にも落雪式屋根の下での作業は十分注意していただきたいですしオーガーを回したまま放置などは本当に危険です。

大変な冬を安全に少しでも快適に乗り切るために皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

西部編集委員

焼いも交流会

10月29日、栄中学校で焼き芋交流会が開かれました。畑作りに協力して頂いた保護者、地域の方、そして夏に花壇の草取りをしていただいた森の老人クラブの方々をお招きし、晴天の中、生徒たちの考えたクイズなどを楽しみながら秋の味覚を美味しくいただきました。

村民広場

―栄村男子―

僕は今、下高井農林高校の緑地環境科フラワーデザインコースに所属しています。このコースは週10時間あり、マリーゴールドやサルビアなどの花をポット上げしたり、飯山市のポケットパークや飯山駅で花を植栽して地域の人と交流したりしています。また、3年間でクラス関係なく沢山の友達ができ毎日バカなことをして盛り上がったりしながら楽しい学校生活を送っています。そして9月に就職が決まり、来年の4月から念願だった東京で仕事をすることが決まりました。いつかBIGになって栄村に貢献できるようになりたいです。

箕作　上倉　誠

―栄村女子―

桐の葉祭、SBCこども音楽コンクール、村の文化祭も終わり、そして今月には部活と剣道も引退します。抜け殻状態になりつつありますが、中学3年生、つまり受験生はそんなこと言ってられません。進路実現へ向けて猛勉強！といきたいところですが、まだ進路が決まっていない上、勉強よりも寝る事優先の脳みそなので、そうはいきません。悩むことが多くなってきますが、残り半年を切った学校生活、今のメンバーで過ごす時間だけは、何よりも大切にしたいです。

月岡
南雲まりな

―我が家のペット①―

ちび　取扱説明書

お近づきになる前にこの説明書をお読みになり、内容を十分ご理解頂き、正しくお近づき下さい。

・12歳の老犬ですが初対面では少し吠えさせていただく場合があります。
・おやつの確認がとれませんと、お手・おかわりなどの芸は一切いたしません。
・寒さに弱いため冬期間は室内にて警戒をさせて頂きます。
・その日の気分により予告なく警戒を怠ります。

以上正しい取扱よろしくお願い致します。

長瀬　赤津　ちび

―我が家のペット②―

鈴虫を飼って3年になります。ありんこのように小さかった鈴虫が大きくなっていく様やエサの食べ具合を毎日観察したり全身を震わせて鳴く様を見るのは感動的です。まだふ化を成功させたことがなので来年こそ卵がふ化することを願っています。

北野　桑原亜希子

移動図書始まります

公民館図書室では、冬は読書の時間がとれるが、借りに行く手段に困っているという方のために、昨年試に運行しましたが、需要が多かったためこの冬移動図書を開始します。

運べる本に限りがありますが、なるべくご希望の本を選んで運びたいと思いますので、本のジャンル・作家等お気軽に栄村公民館までお知らせください。詳しい運行表は別にお配りしますのでご覧ください。

また、公民館職員が集落を回りますが、時間の許す限り集落の様子や行事のこと等お話をお聞きしたく思いますので、気軽に話しかけてください。

これからの公民館講座　☎050－3583－2115まで

月日	時間	教室名	場所	備考
12月1日	9:00～11:30	しめ縄教室	文化会館　会議研修室	参加料：一人200円
	13:00～16:00	あんぼ教室	文化会館　会議研修室	参加料：一人500円
12月14日	10:00～15:00	こどもまつり	文化会館	
	10:00～12:00	親子であそぼう	文化会館 かたくりホール	こどもまつりと同時開催
12月21日	14:00～17:00	公民館　相いより会	文化会館 かたくりホール	村を語りつくそう
11月21日～ 12月19日 毎週木曜日 全5回	19:30～20:30	ストレッチ ヨガ教室	高齢者総合福祉センター	参加料：一人1回500円

新着図書紹介

- 島はぼくらと（辻村深月）
- 土と生きる
  循環農場から（小泉英政）
- 植物のあっぱれな生き方（田中修）

その他

雑誌もあります

編集後記

11月は旧暦で「霜月」といいますね。文字通り霜が降りる月という意の「霜降月（しもふりつき）」から「霜月」となったそうです。こうした月の異称は日常でもよく見聞きしますし、二十四節気の立冬もまもなく迎えます。私たちの暮らしの中には季節感ある風情で素敵な呼び名がたくさかあることに改めて気付かされました。㊧

11月 生活カレンダー

行事予定

7日(木)　戦没者追悼式(かたくりホール)
　　　　　10：15～
9日(土)　秋山校区合同文化祭(秋山小学校)
12日(火)　保育園開放日(北信保育園)
15日(金)　保育参観(北信保育園)
　　　　　授業参観(栄小学校)
16日(土)　長野県縦断駅伝競走　～17日
26日(火)　保育園開放日(北信保育園)

健康ガイド

詳しい内容等については
住民福祉課にお問い合わせください。　電話 87-3020

◆各種健康相談等

6日(水)　ちょいとずく出してみよう会
　　　　　(高齢者センター)14：00～
20日(水)　ちょいとずく出してみよう会
　　　　　(高齢者センター)14：00～
27日(水)　心の相談会(高齢者センター)14：00～
12月4日(水)　ちょいとずく出してみよう会
　　　　　(高齢者センター)14：00～

◆予防接種・健診

25日(月)　児健診・心理相談(集団検診室)
　　　　　13：00～
27日(水)　予防接種(栄村診療所)16：00～

栄村社協＆総合サポートセンターのブログができました。ぜひご覧ください。

http://www.sakaefukushi.com/blog1/

栄村社協　総合サポートセンター　検索

栄村の気象(9月)

最高気温	31.7℃	9月4日（水）	
最低気温	9.2℃	9月27日（金）	
平均気温	20.6℃	総雨量	280㎜

広報ギャラリー

栄小学校

【こびとになってあそんだよ】

小林(こばやし)　香里奈(かりな)さん（1年・白鳥）

アサガオの家をいろいろな色でぬれて楽しかった。

【集中した組体操】

髙橋(たかはし)　星来(せいら)さん（4年・青倉）

運動会の組体操でサボテンをやっている時の様子です。手の太さを考えたり、色づかいに気をつけながらかきました。

世帯と人口（10月1日現在）

世帯数	903世帯	前月比-3
総人口	2,174人	-11
男	1,023人	-4
女	1,151人	-7

9月中の異動

出生	2
死亡	3
転入	2
転出	12

◇編集後記◇

震災から2年半が経過した今でも、『栄村のために』『がんばれ栄村』と村外・県外から多くの方が栄村へ足を運んでくださいます。ただただ感謝です。

栄村社協では、村民のボランティア登録を始めました。全国のどこかで災害が発生した際に、ボランティアとしてお手伝いに行ってみませんか。今までご支援いただいた皆さんへの恩返しも含め、ぜひ登録してみてはいかがでしょうか。㊓

●広報さかえ　平成25年11月1日発行　●編集　総務課行政係
●〒389-2792　長野県下水内郡栄村大字北信3433　電話 0269(87)3111(代)　FAX 0269(87)3083
●栄村ホームページ http://www.vill.sakae.nagano.jp/　●Eメール kouhou@vill.sakae.nagano.jp　●印刷 ㈲足立印刷所